

2025-22
2025年11月

検査内容変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして検査実施施設を変更させて頂きます。実施施設の変更に伴い検査内容の変更がございますので御案内いたします。

何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【変更項目】

◆ 抗核抗体（ANA）[10300] ...検査案内 P.59 検査実施施設 B

検査項目 [コード] 検査案内掲載頁 検査実施施設	変更箇所	新	現	備考
抗核抗体（ANA） [10300] P59 B	項目コード	30300	10300	現コードは12/6（土）受付分まで中止といたします。 縦長報告書ご利用施設様においては、欄外報告書での報告となります。
	検体必要量	0.4 mL	0.5 mL	
	報告様式 ※1	染色パターン10項目についてすべて報告	陽性時、陽性の染色パターンのみ報告	
	検査実施施設	M (株式会社 LSI メディエンス)	B (病体生理研究所)	

※1 次ページ以降の別表参照

《実施日》：2025年12月8日（月）受付分より

【抗核抗体（ANA）報告様式詳細】

基質（核材）に HEp-2 細胞を改良した HEp-20-10 細胞を用いた測定試薬に変更します。基質の変更に伴い「抗核抗体（ANA）染色型に関する国際コンセンサス（ICAP）」が提唱する分類法に準じた染色型報告に変更いたします。

新	現
<p>抗体価(Nuclear) 40 未満/40~40960/81920 以上(倍)</p> <p>Homogenous 型</p> <p>Speckled 型</p> <p>Centromere 型※1</p> <p>Discrete nuclear dots 型</p> <p>Nucleolar 型</p> <p>Nuclear envelope 型</p> <p>Pleomorphic 型</p> <p>Peripheral 型</p> <p>Cytoplasmic 型※2</p> <p>Mitotic 型</p>	<p>抗体価 40 未満/40~163840 (倍)</p> <p>Homogenous 型</p> <p>Speckled 型</p> <p>Discrete speckled 型</p> <p>Nucleolar 型</p> <p>Peripheral 型</p> <p>Cytoplasmic 型※1</p>

◆染色パターンが認められない場合は「ケンシュツセズ」で報告します。

◆上記以外の染色パターンが認められた場合は、コメントを追記して報告します。

※1： Discrete speckled 型から Centromere 型に表記を変更します。

※2： Cytoplasmic 型に含まれる以下の染色型が認められた場合、別紙にて報告します。
Fibrillar 様型、 Speckled 様型、 Reticular/ANA 様型、 Polar/Golgi 様型、 Rods and rings 様型

◆認められた染色パターンのみ報告します。
※上記以外の染色パターンが認められた場合は別紙にて報告します。
※1： Cytoplasmic 型は 160 倍以上蛍光強度がみられた細胞質抗体を陽性として別紙にて報告します。

抗核抗体（ANA）代表的な染色型と推定される抗体・関連疾患			
	代表的な染色型	推定される抗体	関連疾患
Nucleolar型	Homogenous (均質型)	抗ヒストン抗体、抗ds DNA抗体	全身性エリテマトーデス、薬剤誘発性ループス
	Peripheral (辺縁型)	抗DNA抗体	全身性エリテマトーデス
	Centromere (セントロメア型) ^{※1}	抗セントロメア抗体	強皮症、レイノー現象
	Speckled (斑紋型)	抗U1-RNP抗体、抗Sm抗体、抗SS-A抗体 抗SS-B抗体など	混合性結合組織病、全身性強皮症、 全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群
	Discrete nuclear dots (散在核内斑点型)	抗Sp100抗体	原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性筋炎
	Nucleolar (核小体型)	抗U3-RNP抗体、抗RNAポリメラーゼ I 抗体 など	全身性強皮症、レイノー現象、シェーグレン症候群
	Nuclear envelope (核膜型)	抗gp210抗体	自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変
	Pleomorphic (多形型)	抗CENP-F抗体	自己免疫性肝炎
Cytoplasmic型 (細胞質型)	Fibrillar様型	抗平滑筋抗体	I型 自己免疫性肝炎
	Speckled様	抗リボソームP抗体 抗ARS抗体、抗Jo-1抗体 抗SRP抗体	全身性エリテマトーデス 抗合成酵素抗体症候群 PM・壊死性筋症
	Reticular/ANA様	抗ミトコンドリア抗体 抗ミトコンドリアM2抗体	原発性胆汁性胆管炎
	Polar/Golgi様		様々な疾患
	Rods and rings様		ペグ化インターフェロン α /リバビリンで治療されたHCVの患者
Mitotic (有丝分裂型)	Centrosome様		疾患に対する陽性的中率は低い
	Spindle fibers様		疾患に対する陽性的中率は低い
	NuMA様		約半数は全身性自己免疫性リウマチ性疾患 (シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、 未分化結合組織病、限局皮膚硬化型全身性強 皮症、関節リウマチ) の臨床的特徴を有する
	Intercellular bridge様		疾患に対する陽性的中率は低い
	Mitotic chromosomal様		疾患に対する陽性的中率は低い

※グレー部分は現在の報告形式です。

※ 1：現在報告してるDiscrete speckled型は、Centromere (セントロメア型) に名称変更となります。

